

平成25年3月期(第11期) 決算説明会

平成25年5月20日
株式会社ジーダット

1.平成25年3月期 決算概要

2.平成26年3月期 計画・業績予想

平成25年3月期のポイント

売上高:12億円(対前年比9.9%減)

営業利益:△96百万円、経常利益:18百万円

外注費等の経費を削減して固定費を圧縮

助成金収入により経常利益は黒字化

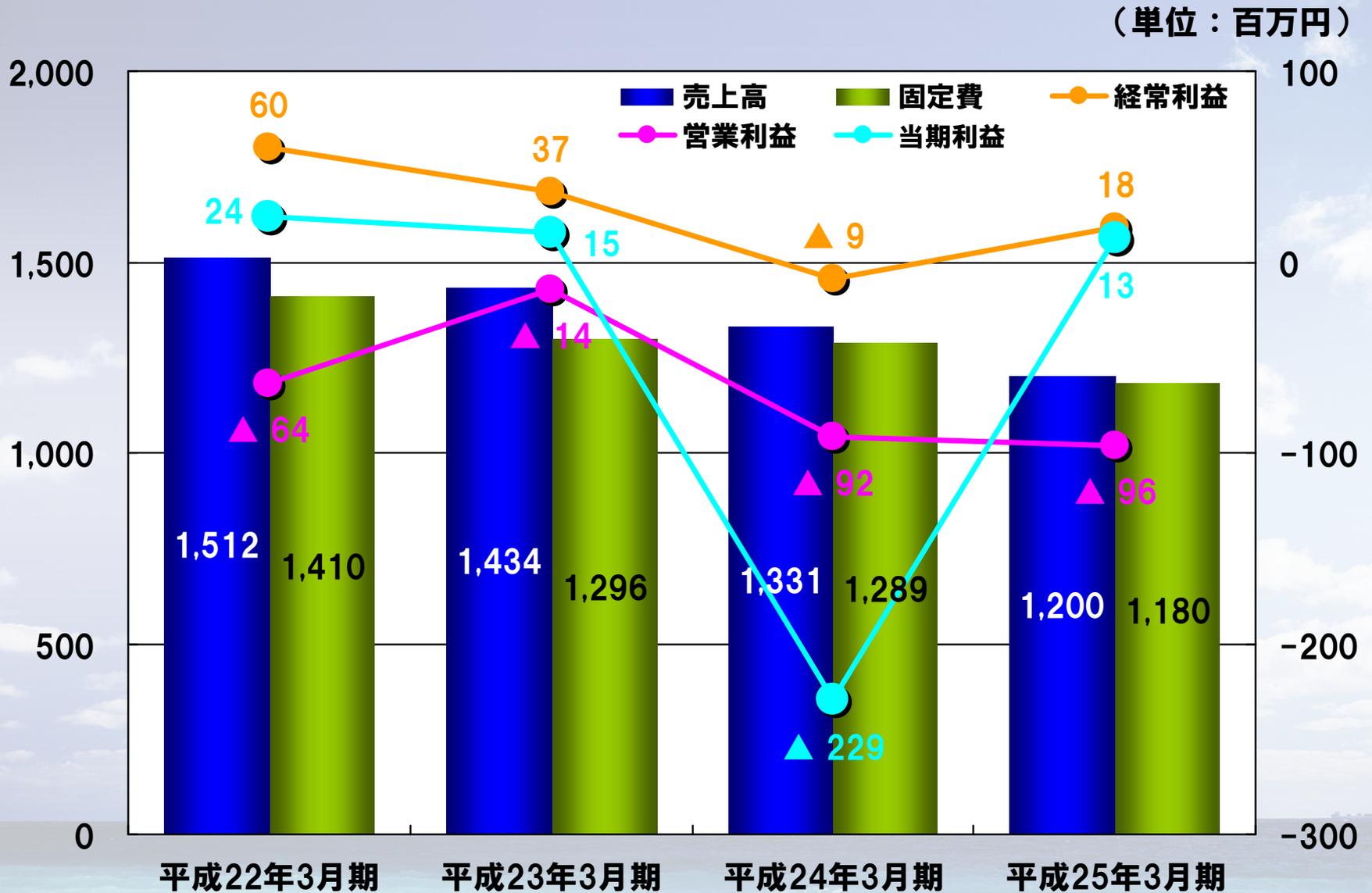
研究開発は高比率を維持

平成25年3月期業績概要(連結PL)

(単位：百万円)

	平成24年3月期		平成25年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	対前年同期比
売上高	1,331	100.0%	1,200	100.0%	△9.9%
売上総利益	993	74.6%	976	81.4%	△1.7%
販売費及び一般管理費	1,085	81.5%	1,073	89.4%	△1.1%
営業利益	△ 92	△6.9%	△96	△8.1%	—
経常利益	△ 9	△0.7%	18	1.5%	—
当期純利益	△ 229	△17.2%	13	1.2%	—

売上・利益の推移



事業別売上高（製品/サービス）

（単位：百万円）

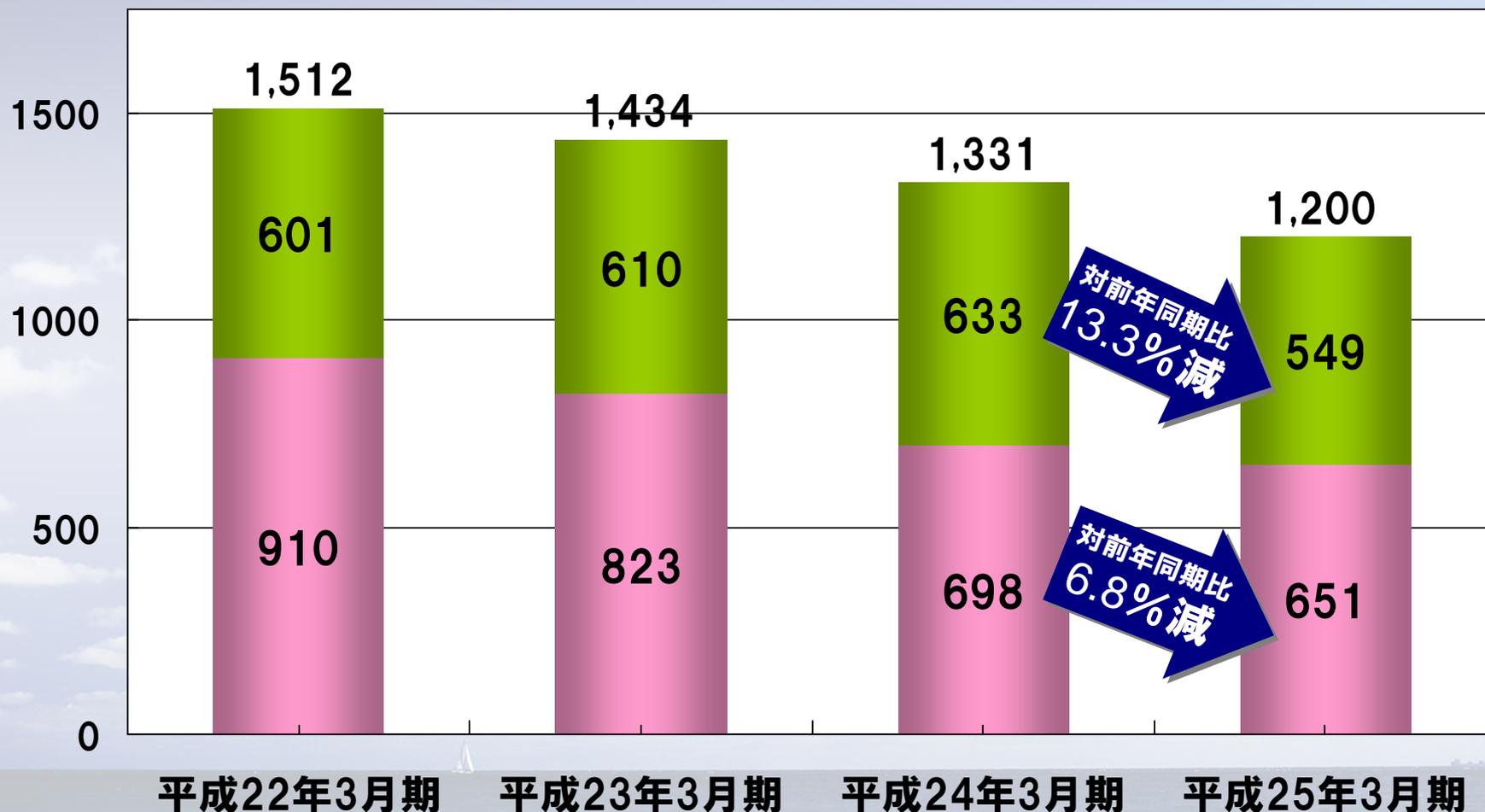
■ 製品 ■ サービス



市場別売上高（半導体／FPD）

（単位：百万円）

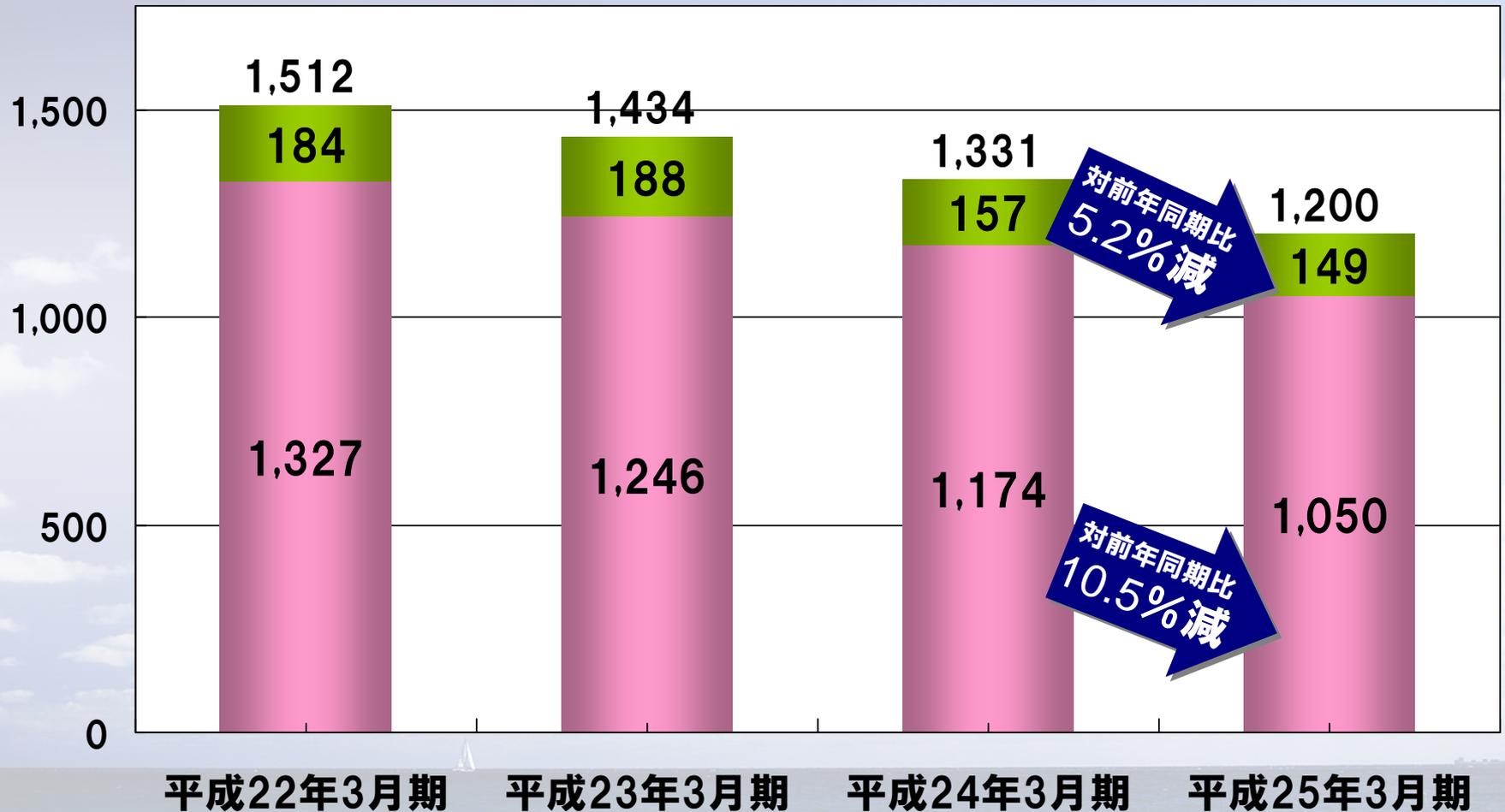
■ 半導体市場 ■ FPD市場



製品区分別売上高（自社開発／代理販売）

（単位：百万円）

■ 自社開発製品 ■ 代理販売製品

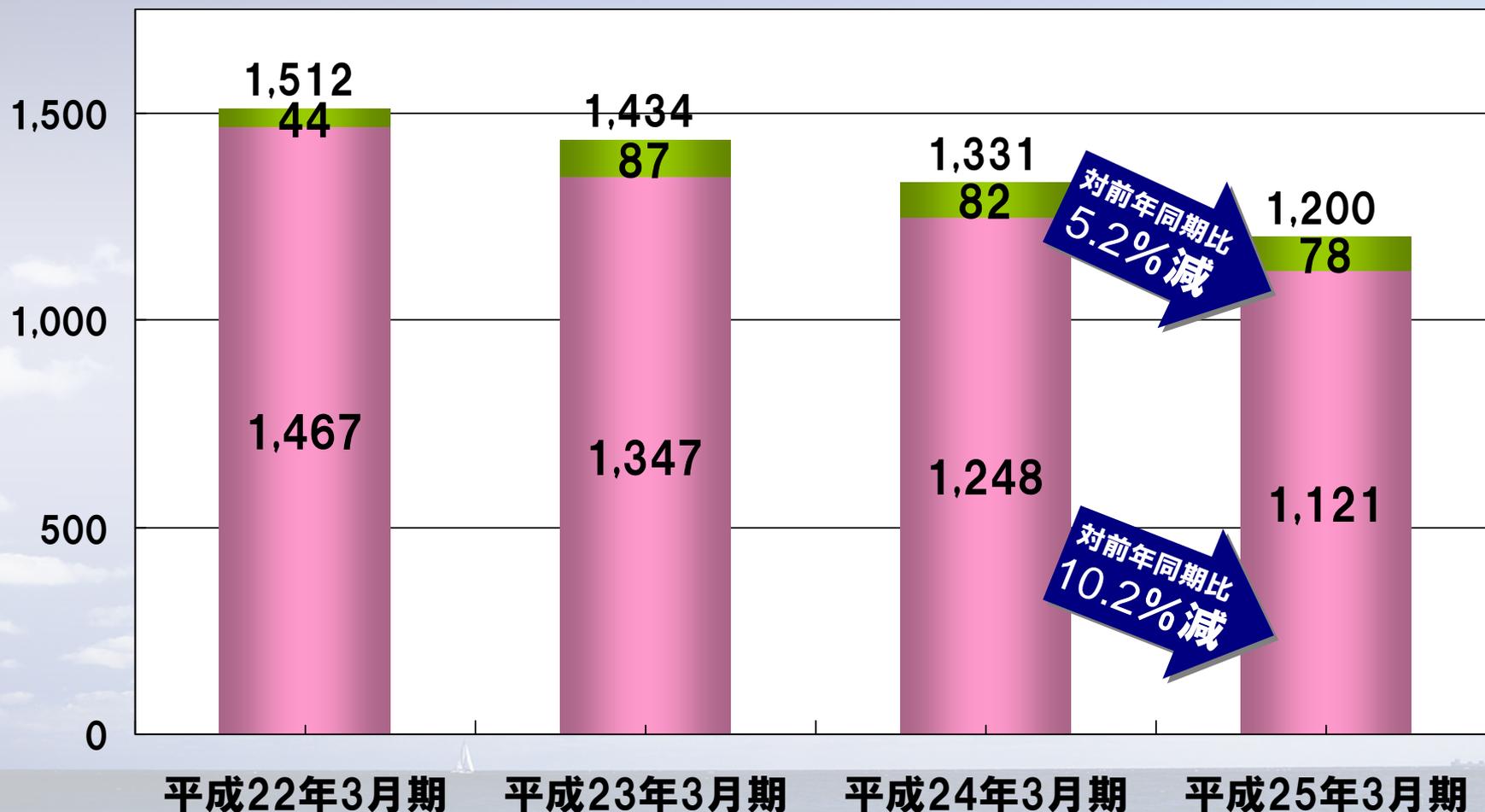


販売先別売上高（国内／海外）

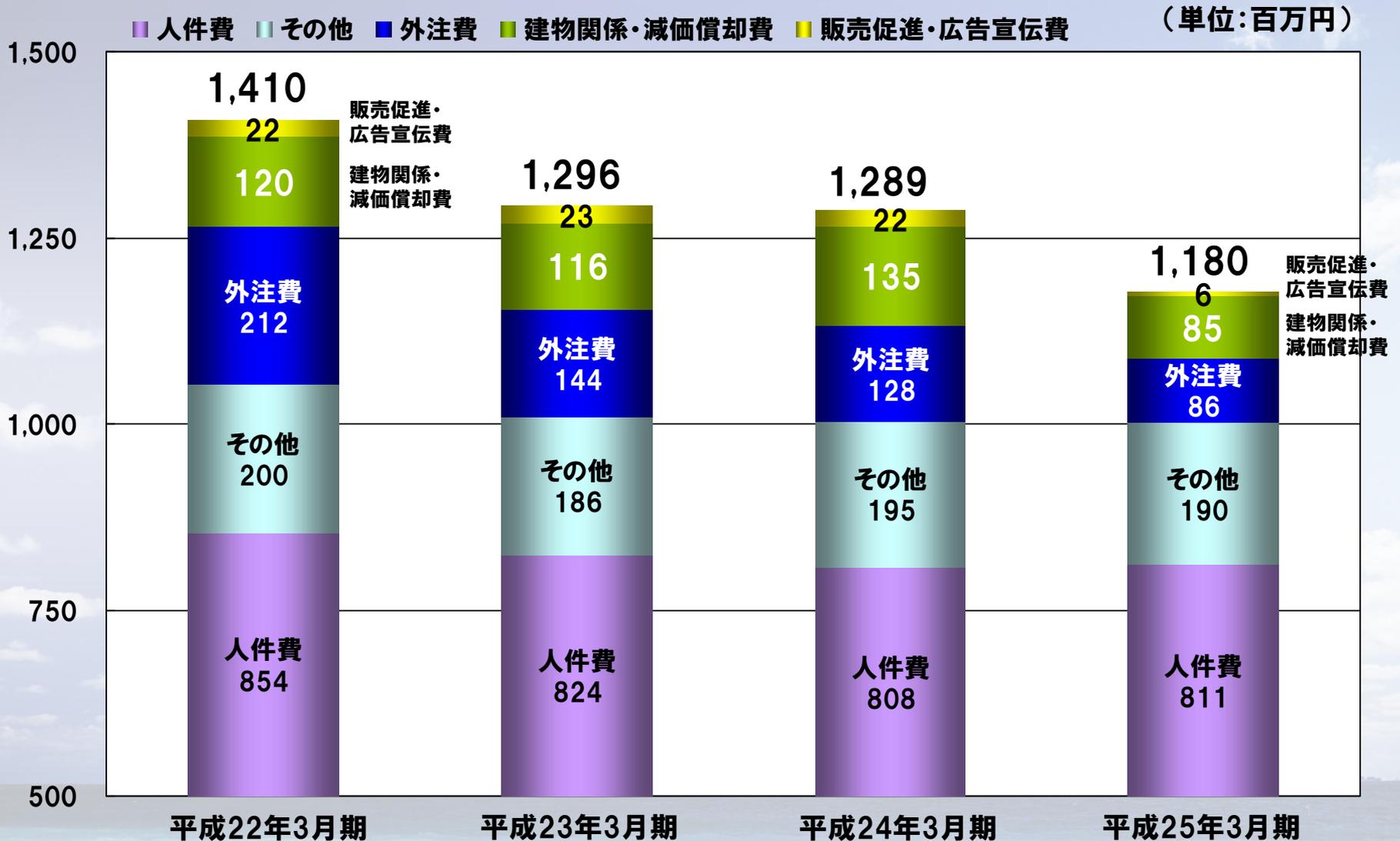
（単位：百万円）

■ 国内向け

■ 海外向け

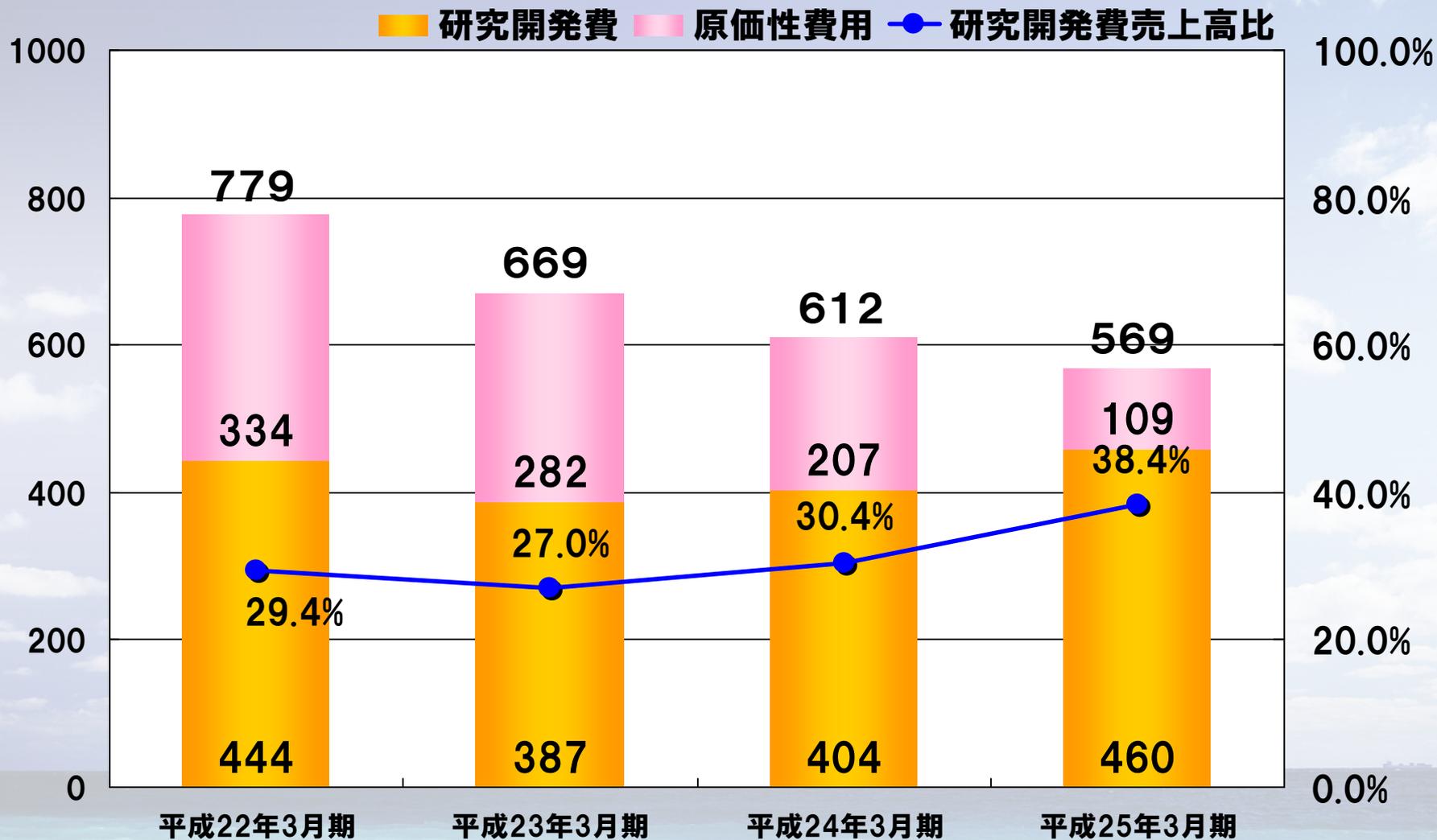


固定費内訳



開発部門費・研究開発費

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成24年 3月期末	平成25年 3月期末	差異		平成24年 3月期末	平成25年 3月期末	差異
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	2,340	2,197	△142	I 流動負債	235	264	28
1 現金及び預金	1,969	1,984	14	1 買掛金	23	19	△3
2 受取手形及び売掛金	172	171	△1	2 未払法人税等	5	6	0
3 電子記録債権	57	—	△57	3 賞与引当金	37	56	19
4 有価証券	99	—	△99	4 その他	169	181	12
5 たな卸資産	4	3	△1	負債合計	235	264	28
6 繰延税金資産	—	—	—	(純資産の部)			
7 その他	35	38	3	I 株主資本	2,178	2,183	4
II 固定資産	73	256	183	1 資本金	760	760	—
1 有形固定資産	29	21	△7	2 資本剰余金	890	890	—
2 無形固定資産	19	9	△10	3 利益剰余金	561	565	4
3 投資その他の資産合計	24	225	201	4 自己株式	△32	△32	—
繰延税金資産	—	—	—	II 評価・換算差額等	△0	7	8
その他	24	25	1	その他有価証券評価差額金	—	—	—
				為替換算調整勘定	△0	7	8
				純資産合計	2,177	2,190	13
資産合計	2,413	2,454	41	負債純資産合計	2,413	2,454	41

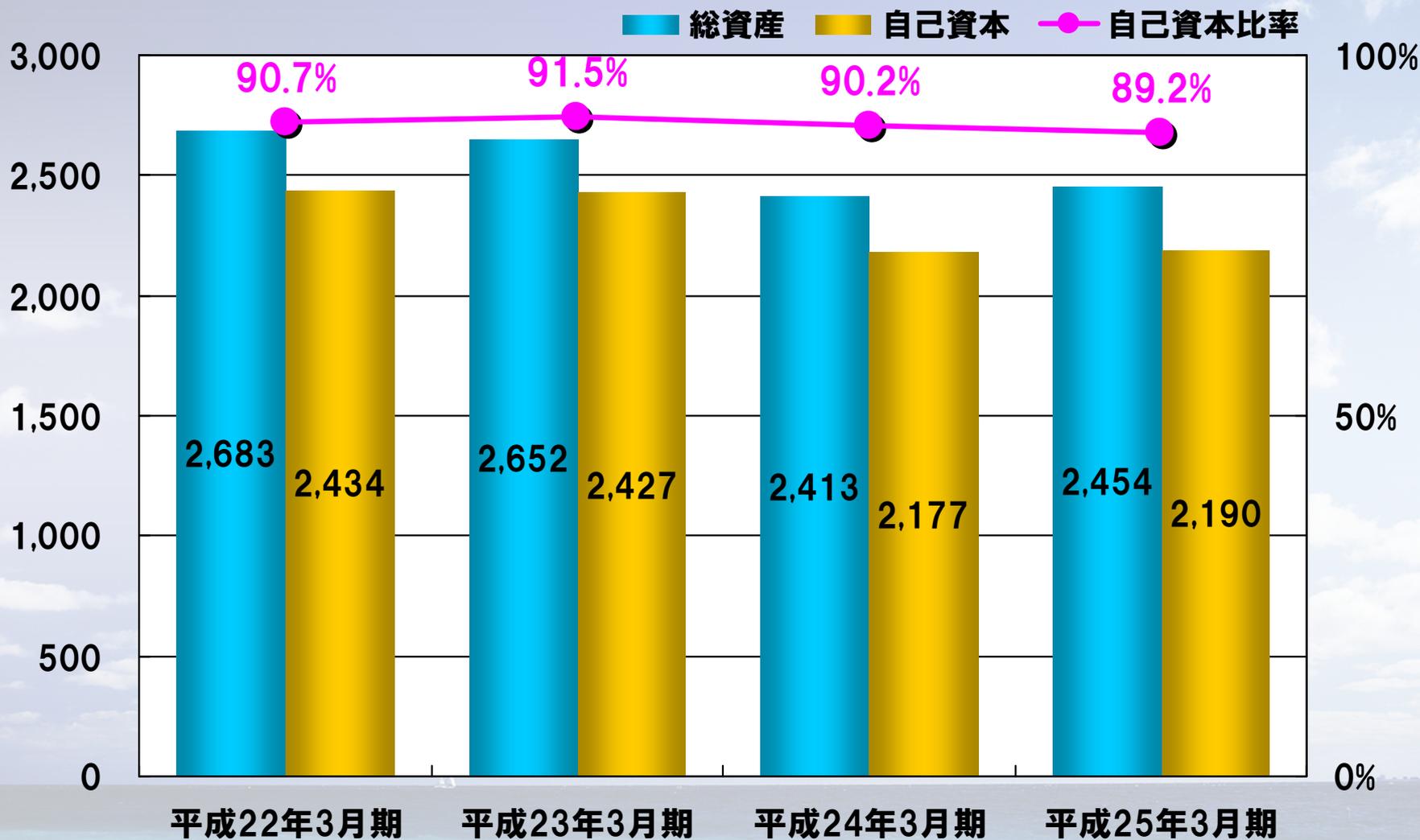
連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	平成24年 3月期末	平成25年 3月期末	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	29	126	97
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	200	△111	△311
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△19	△9	9
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	8	6
V 現金及び現金同等物の増減額	212	14	△198
VI 現金及び現金同等物の期首残高	854	1,069	215
その他の現金及び現金同等物の増減額	2	—	△2
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,069	1,084	14

総資産・自己資本

(単位：百万円)



- ▶ **DAC※に初出展**
 - ✓ 「Anchorシリーズ」の販売開始
- ▶ **回路シミュレータ「Cforce」の販売開始**
 - ✓ 上流系の中核製品として拡販
- ▶ **主力製品「 α -SX」の大幅機能・性能拡張**
 - ✓ 標準化対応・機能拡張・パフォーマンスアップ
- ▶ **開発体制の見直し**
 - ✓ 製品仕分けの実施（選択と集中）
 - ✓ 開発子会社の吸収合併に向けた取組み

※DAC (Design Automation Conference) : EDA業界最大の展示会・学会

1.平成25年3月期 決算概要

2.平成26年3月期 計画・業績予想

平成26年3月期計画のポイント

売上高拡大・営業利益黒字化

海外半導体市場への本格展開

ソリューション・ビジネスの立ち上げ

開発の内製化によるコストダウン

平成26年3月期業績予想(連結PL)

(単位：百万円)

	平成25年3月期		平成26年3月期		
	実績	売上高比	予想	売上高比	対前年同期比
売上高	1,200	100.0%	1,350	100.0%	12.5%
売上総利益	976	81.4%	978	72.5%	0.2%
販売費及び一般管理費	1,073	89.4%	948	70.2%	△11.6%
営業利益	△96	△8.1%	30	2.2%	—
経常利益	18	1.5%	34	2.5%	87.1%
当期純利益	13	1.2%	28	2.1%	103.5%

課題と施策（1）

➤ 国内売上高の維持

- ✓ 主力製品の開発継続により現有顧客の維持
- ✓ 自動車関連・携帯端末関連向けの
解析系・検証系ツール群の拡販を継続
- ✓ 新規代理店製品の拡販開始

➤ 海外市場向け拡販加速

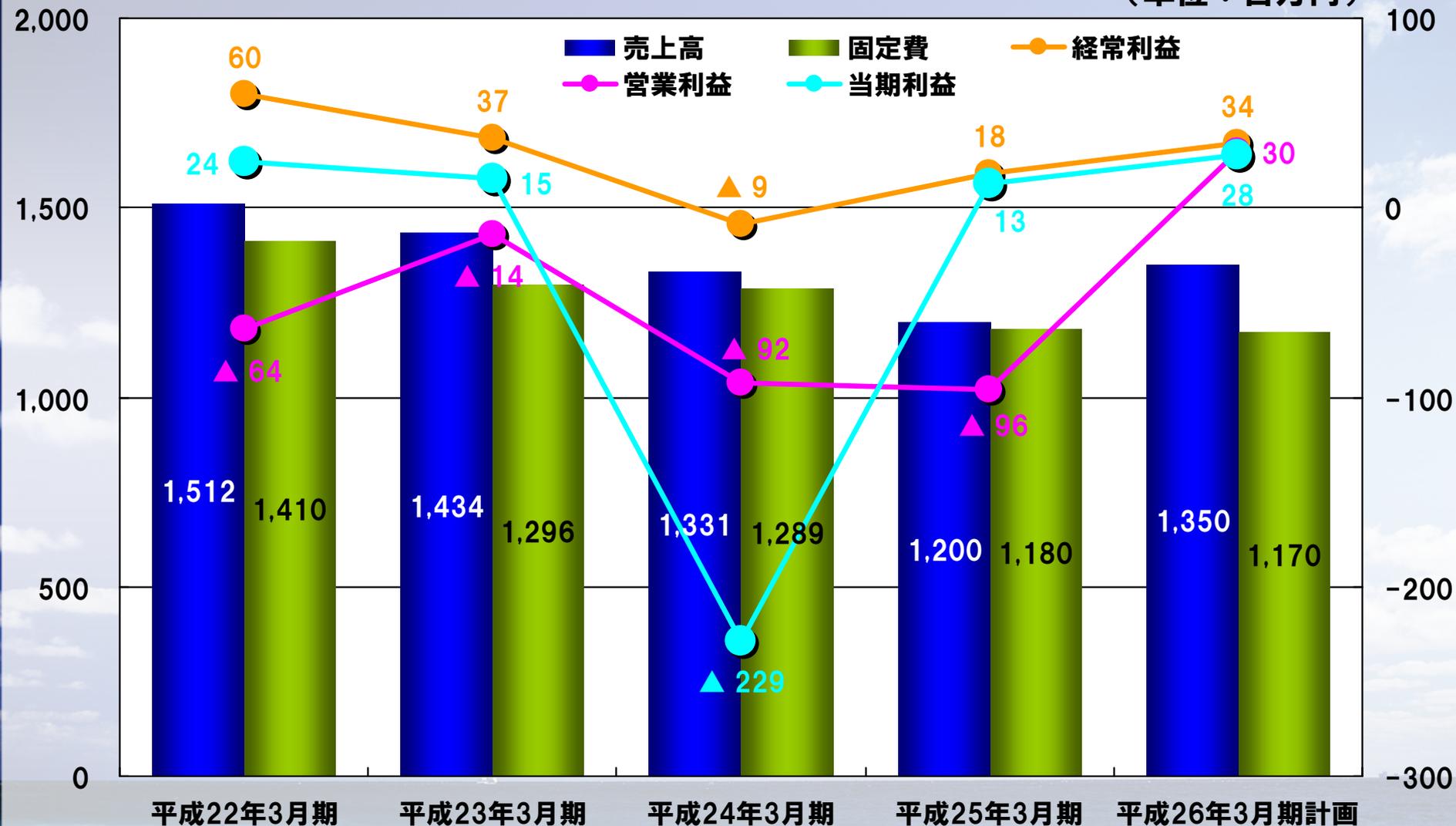
- ✓ 半導体市場への本格展開
 - 上海に販売会社を設立（中国市場向け）
 - 最先端プロセス向け新製品の販売開始（欧米市場向け）
- ✓ FPD市場への拡販継続
 - 高性能・大型・有機ELパネル向けの
解析系・検証系ツール群の拡販を継続

課題と施策（2）

- **ソリューション・ビジネスの立ち上げ**
 - ✓ 従来のカスタムソフト受託開発の内容・範囲を拡大
 - ✓ 自動車業界に向けた活動を開始
- **製品競争力の更なる強化**
 - ✓ 資源の集中により開発を加速
 - ✓ 解析系・検証系ツール群の強化
 - ✓ 標準化対応・パフォーマンスアップの追求を継続
 - ✓ 最先端プロセス向け新製品の開発

売上・利益

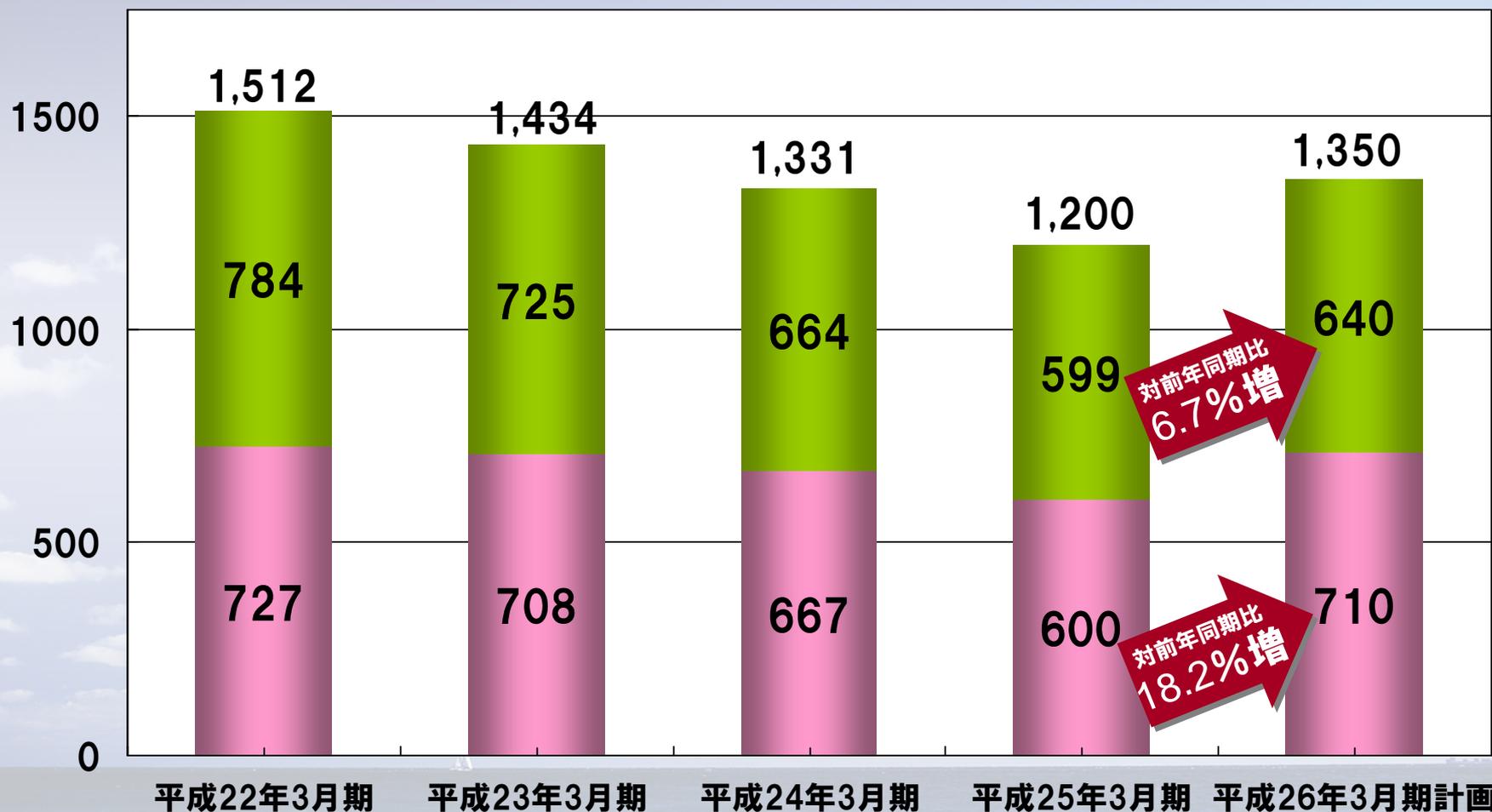
(単位：百万円)



事業別売上高（製品／サービス）

（単位：百万円）

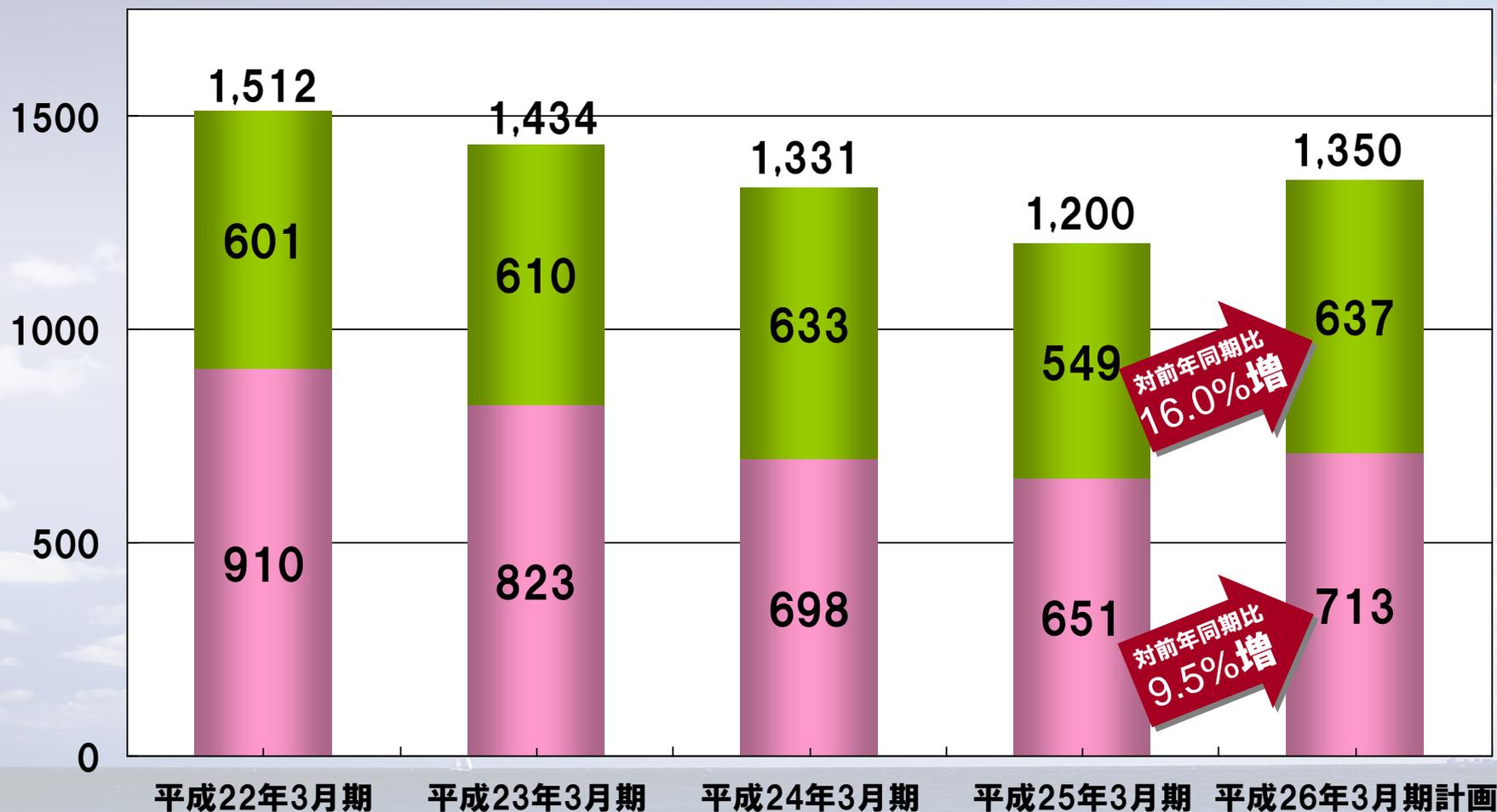
■ 製品 ■ サービス



市場別売上高（半導体／FPD）

（単位：百万円）

■ 半導体市場 ■ FPD市場

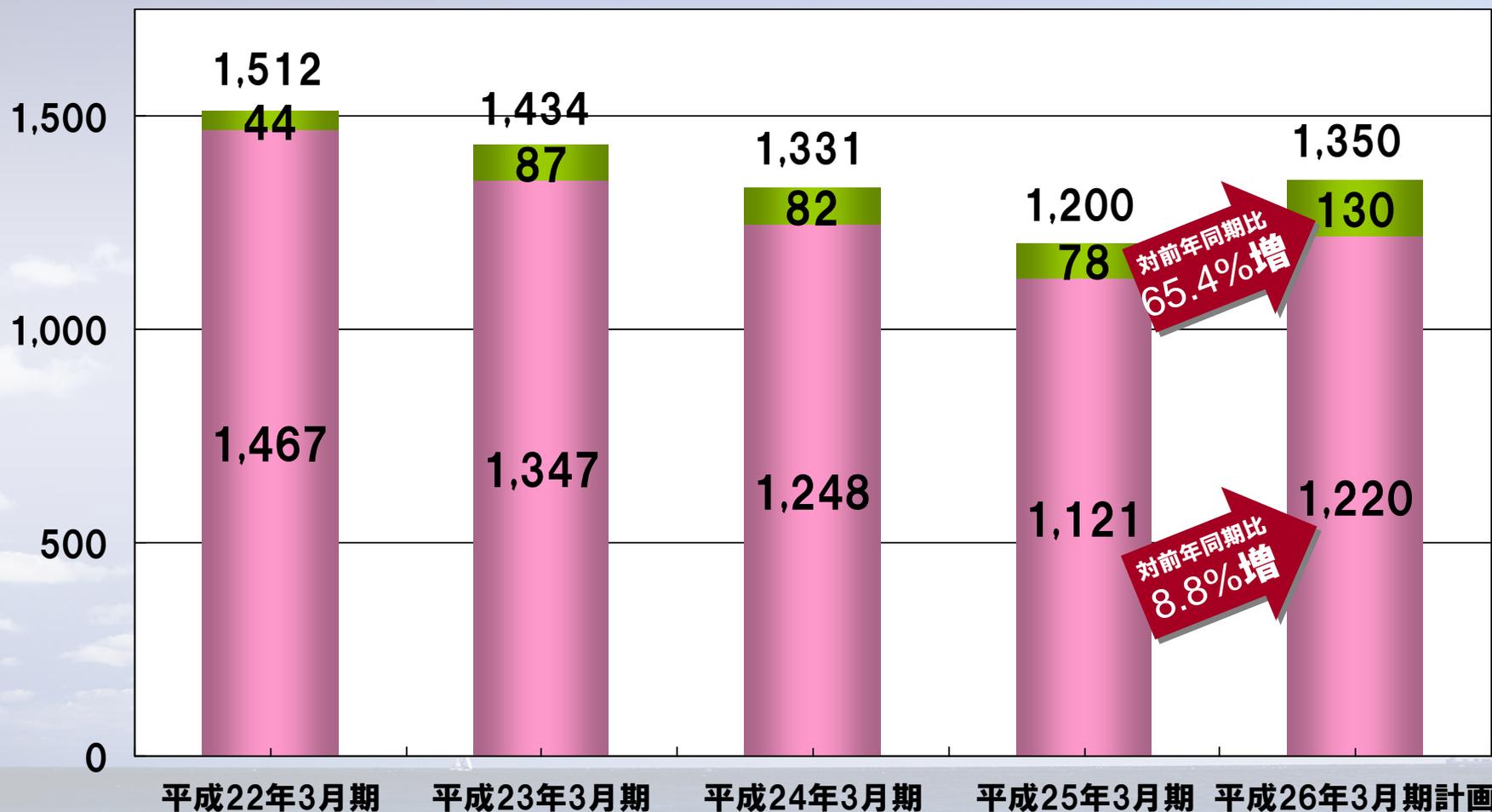


販売先別売上高（国内／海外）

（単位：百万円）

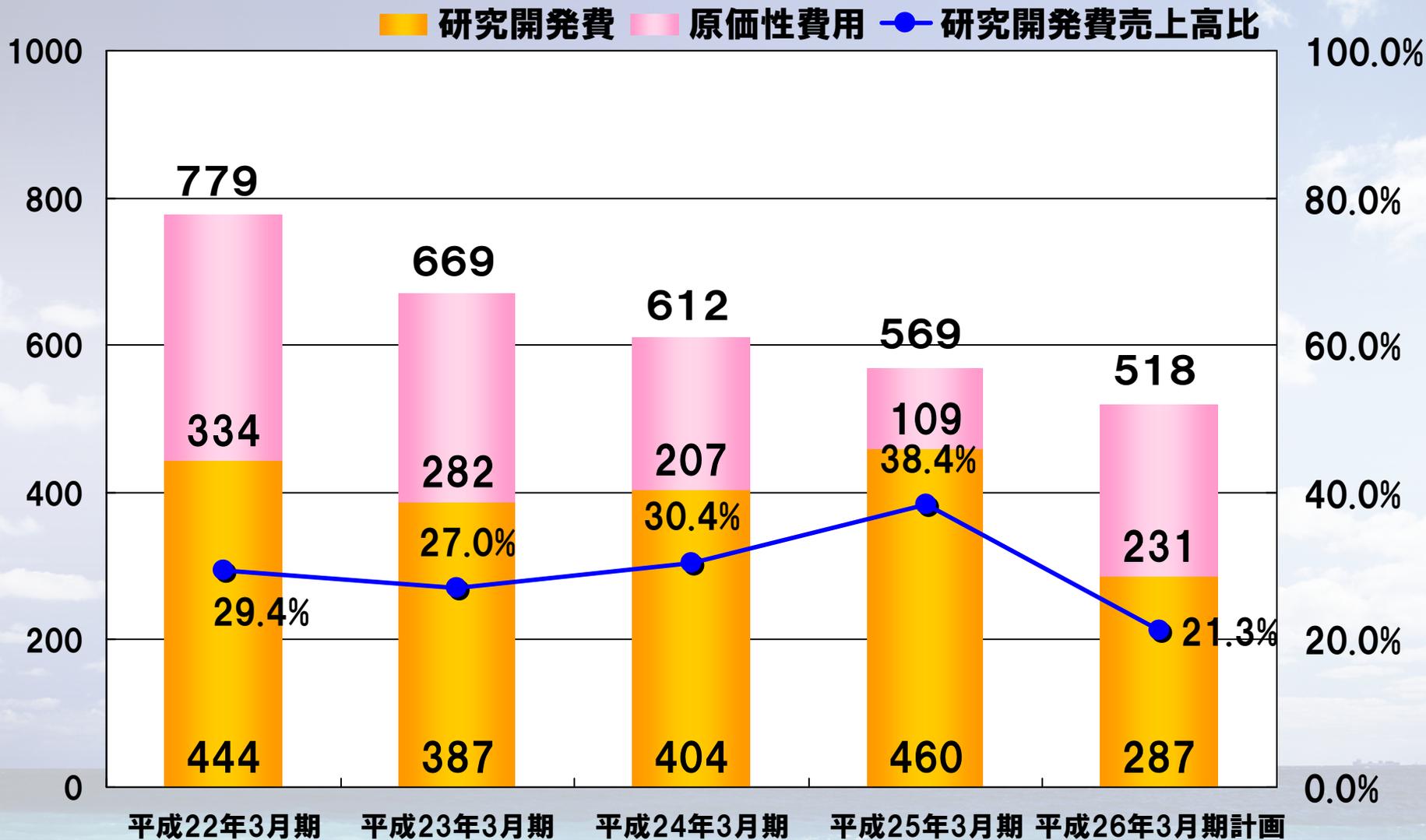
■ 国内向け

■ 海外向け



開発部門費・研究開発費

(単位：百万円)



ご清聴ありがとうございました